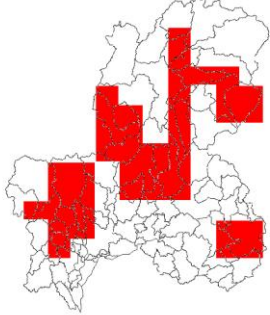


バイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> Nakai var. <i>submersus</i> H.Hara	絶滅危惧Ⅱ類
		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(加藤範夫)
形態の特徴	茎は長さ1-2mになり、節から白い根を出す多年草。沈水葉は有柄で、葉身は3-4回3出し、裂片はさらに分裂して、全体が房状になる。花期は6-8月。葉腋に径約1.5cmの白色花をつける。	
生態的特徴	浅くてきれいな流水中に生える。	
分布状況	日本固有の種。北海道、本州に分布する。県内では県北の北部及び県南の中南部を除くかなり広い地域に分布する。	
減少要因	本種の分布域は県下のかなり広い地域に分布するが、もともと生育個体数は多くはない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良